

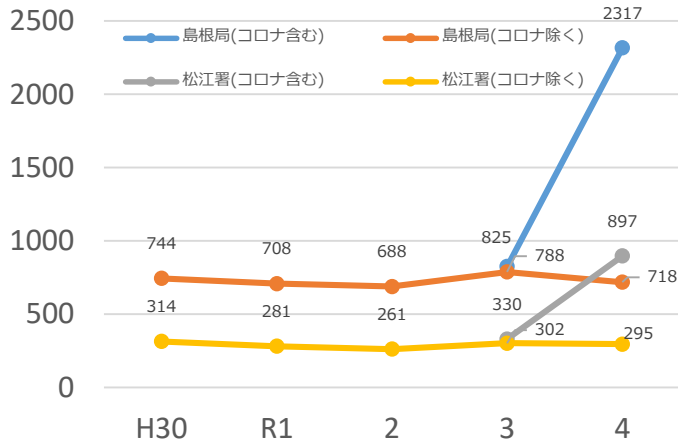


隠岐の島駐在事務所からのお知らせ

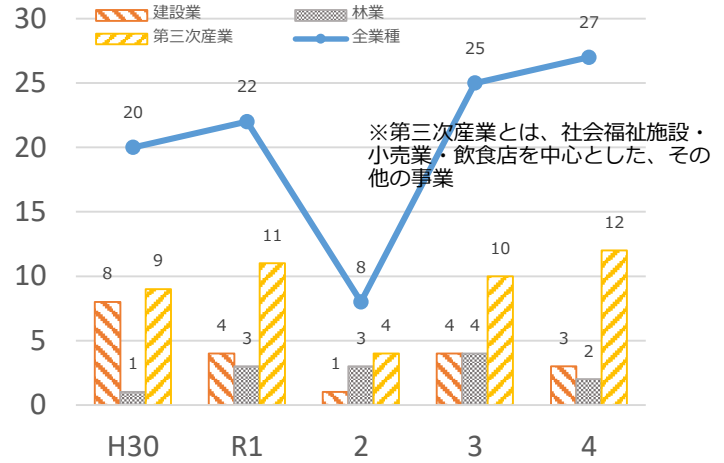
厚生労働省 島根労働局 松江労働基準監督署 隠岐の島駐在事務所

令和4年隠岐郡内の労働災害発生状況

1 島根労働局管内の全体及び松江署における労働災害発生状況（休業4日以上）



2 隠岐郡における労働災害発生状況（休業4日以上）



3 令和4年業種別労働災害発生状況（前年比較：休業4日以上）

	全署計			松江署									
	R3		増減 (死傷)	R3			R4			増減 (死傷)			
	死亡	死傷		死亡	死傷	増減 (死傷)	死亡	死傷	増減 (死傷)	死亡	死傷	増減 (死傷)	
全産業計	6	825	1,492	2	330	2	897	567	0	25	0	27	2
製造業	0	144	300	0	44	1	62	18	0	1	0	4	3
鉱業	0	3	0	0	2	0	1	▲1	0	0	0	0	0
建設業	2	125	22	0	41	0	57	16	0	4	0	3	▲1
運輸交通業	0	68	1	0	31	0	28	▲3	0	2	0	1	▲1
林業	0	34	▲12	0	11	0	7	▲4	0	4	0	2	▲2
第三次産業	3	417	1,178	2	186	1	727	541	0	10	0	12	2
その他	1	34	3	0	15	0	15	0	0	4	0	5	1

4 令和4年に『隠岐郡内』で発生した労働災害の概要（新型コロナウイルス患者を除く）

- 令和3年の25件に対して27件と増加となりました。また、新型コロナウイルス感染症によるものを除いても24件発生しており、過去最少を記録した令和2年の8件を大幅に上回る状況でした。
死亡災害は平成29年以降、隠岐郡内では発生していません。
- 年齢が高くなるにつれ、全死傷者数に占める割合も高くなっており、27件中14件は50歳以上の労働者が被災しています。近年隠岐郡内だけでなく島根県内や全国的にみても、高齢労働者が被災する割合が高くなっていきます。
- 27件中7件は「転倒」災害であり、最も多く発生しています。また島根県内の労働災害のうち1/4は転倒災害で、最も多く発生した『事故の型』です（※新型コロナウイルス患者を除く）。
積雪・凍結や床が濡れていてすべる以外に、なにもないところでつまづいて転倒、足がもつれて転倒するといった設備等に起因しない転倒災害も多く発生しています。
- 隠岐郡内では、休業4日以上の中熱症災害は発生していませんが、療養が必要となった中熱症災害は2件発生しています。県内においては、休業4日以上の中熱症を含め73件の中熱症が発症しており、特に7月、8月に多く発生しています。また過去には島根県内で中熱症による死亡災害も発生しています。